

派遣労働者に対する社会保険の適用について

1. 厚生年金保険における取扱い

派遣労働者に対する社会保険の適用についての特別な定めはなく、通常の労働者と同様に就労実態に応じた適用を図ることとなる（派遣元において適用）。

(1) 特定労働者派遣（常用型派遣）

常用雇用者としての要件を満たす場合には、厚生年金保険の被保険者となる。

- ① 原則 2 ヶ月以上の雇用期間であること
- ② 通常の就労者の所定労働時間及び所定労働日数のおおむね 4 分の 3 以上であること

(2) 一般労働者派遣（登録型派遣）

① 常用雇用者としての要件を満たす場合には、派遣就業中は厚生年金保険の被保険者となる。

② 待機期間中は、国民年金の被保険者（第 1 号又は第 3 号）となる。

③ ただし、派遣就業に係る一の雇用契約の終了後、最大 1 月以内に、同一の派遣元事業主のもとでの派遣就業に係る次回の雇用契約（1 月以上のものに限る。）が確実に見込まれるときは、使用関係が継続しているものとして扱われ、被保険者資格は喪失されない（平成 14 年 4 月 24 日付 保保発第 0424001 号、庁保険発第 24 号）。

2. 健康保険における取扱い

(1) 適用の基準そのものは、厚生年金保険と同じ。

(2) ただし、昨年 5 月に総合型健康保険組合（健康保険独自の仕組み）が設立され、任意継続被保険者制度（同）の下で、待機期間がある場合や、異なる事業主の下で派遣就業が行われる場合も含め、派遣労働者に対する健康保険の継続的な適用が図られている。

派遣労働者への適用について

(派遣労働者の場合 ～派遣元において適用～)

○常用型派遣労働者(派遣元に常用雇用者として雇用されている派遣労働者)

適用(※)

○登録型派遣労働者(派遣元に登録し派遣されている期間のみ雇用されている派遣労働者)

適用 (※)	適用さ れない	適用 (※)	適用さ れない	適用 (※)	適用さ れない
派遣期間	待機期間	派遣期間	待機期間	派遣期間	待機期間

(※)2か月以内の期間を定められて使用される労働者、所定労働時間・労働日数が常用労働者のおおむね4分の3に満たない労働者は適用されない。

派遣労働者の現状

1. 派遣労働者数

派遣労働者	-----	約 1 7 5 万人 (注 1)
常用換算派遣労働者	-----	約 6 1 万人 (注 2)
(1) 一般労働者派遣事業		
常用雇用労働者		157,450 人
登 録 者		1,449,352 人
(常用雇用以外の労働者(常用換算))		313,535 人
(2) 特定労働者派遣事業	常用雇用労働者	141,111 人
(労働者派遣事業平成 1 3 年度事業報告より)		

(注 1) 「派遣労働者」は一般労働者派遣事業における「常用雇用者数」、「登録者数」及び特定労働者事業における派遣労働者数を合計したもの。

(注 2) 「常用換算派遣労働者」は一般労働者派遣事業における「常用雇用者数」、「常用雇用以外の労働者(常用換算)数」及び特定労働者事業における派遣労働者数を合計したもの。

(参考)

- 平成 1 0 年公的年金加入状況等調査報告 (社会保険庁)
 - ・登録派遣社員 5 1 . 5 万人※
 - (※ 20 ~ 59 歳にかかる状況)
- 平成 1 1 年就業形態の多様化に関する総合実態調査 (厚生労働省大臣官房)
 - ・派遣労働者数 5 1 . 8 5 万人
- 平成 1 3 年 8 月労働力特別調査 (総務省統計局)
 - ・派遣労働者数 4 5 万人

2. 労働者派遣事業実態調査結果報告

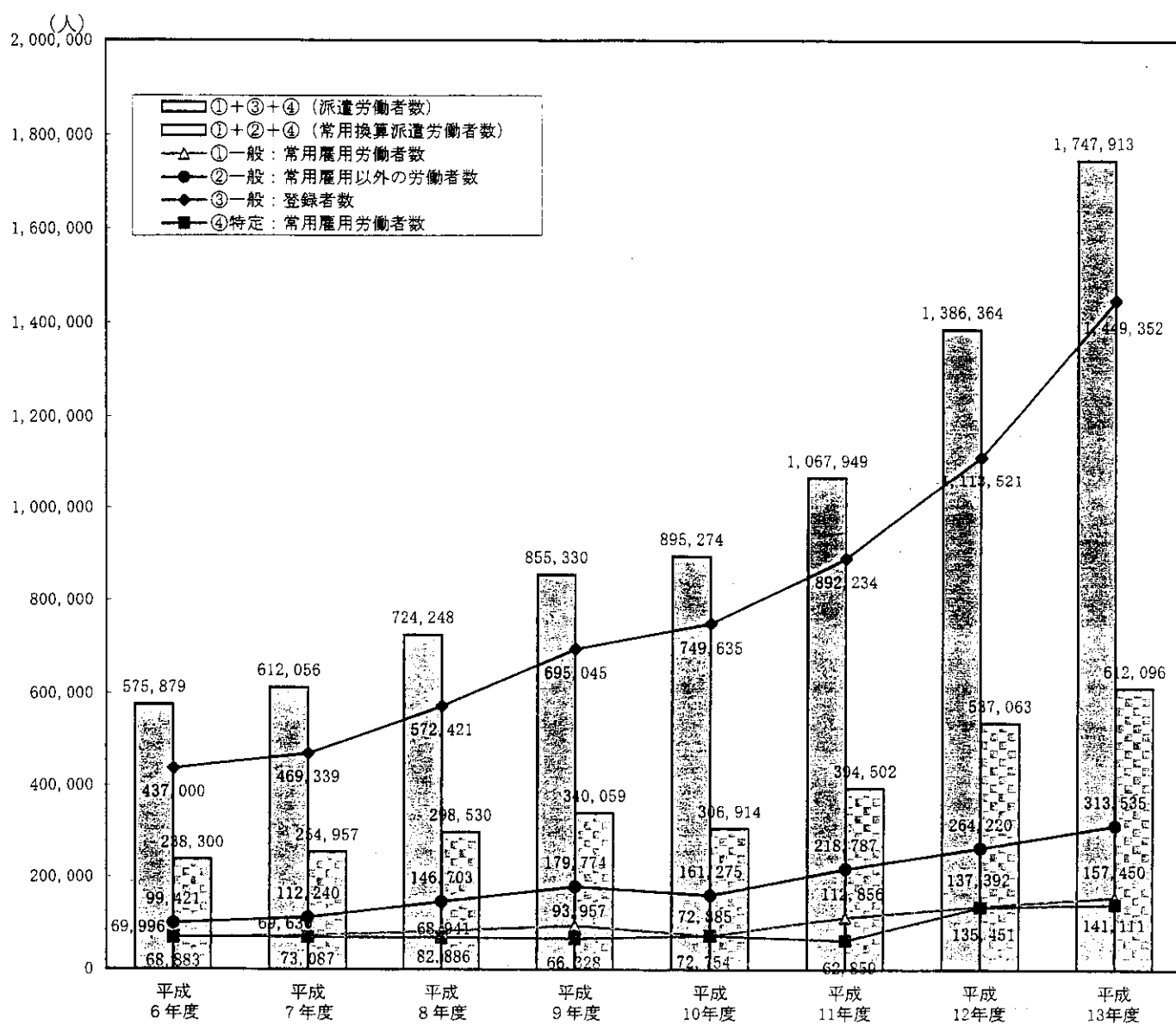
派遣労働者 (常用型及び登録型) のうちの 6 7 . 4 % が厚生年金保険に適用されている。

(単位: 人、%)

総数	加入している	加入していない	わからない	不明
2, 0 2 9	1, 3 6 8	2 7 7	5 5	3 2 9
1 0 0 . 0	6 7 . 4	1 3 . 7	2 . 7	1 6 . 2

(出典: 厚生労働省「労働者派遣事業実態調査結果報告」平成 1 3 年 9 月 3 日発表)

労働者派遣された派遣労働者数等

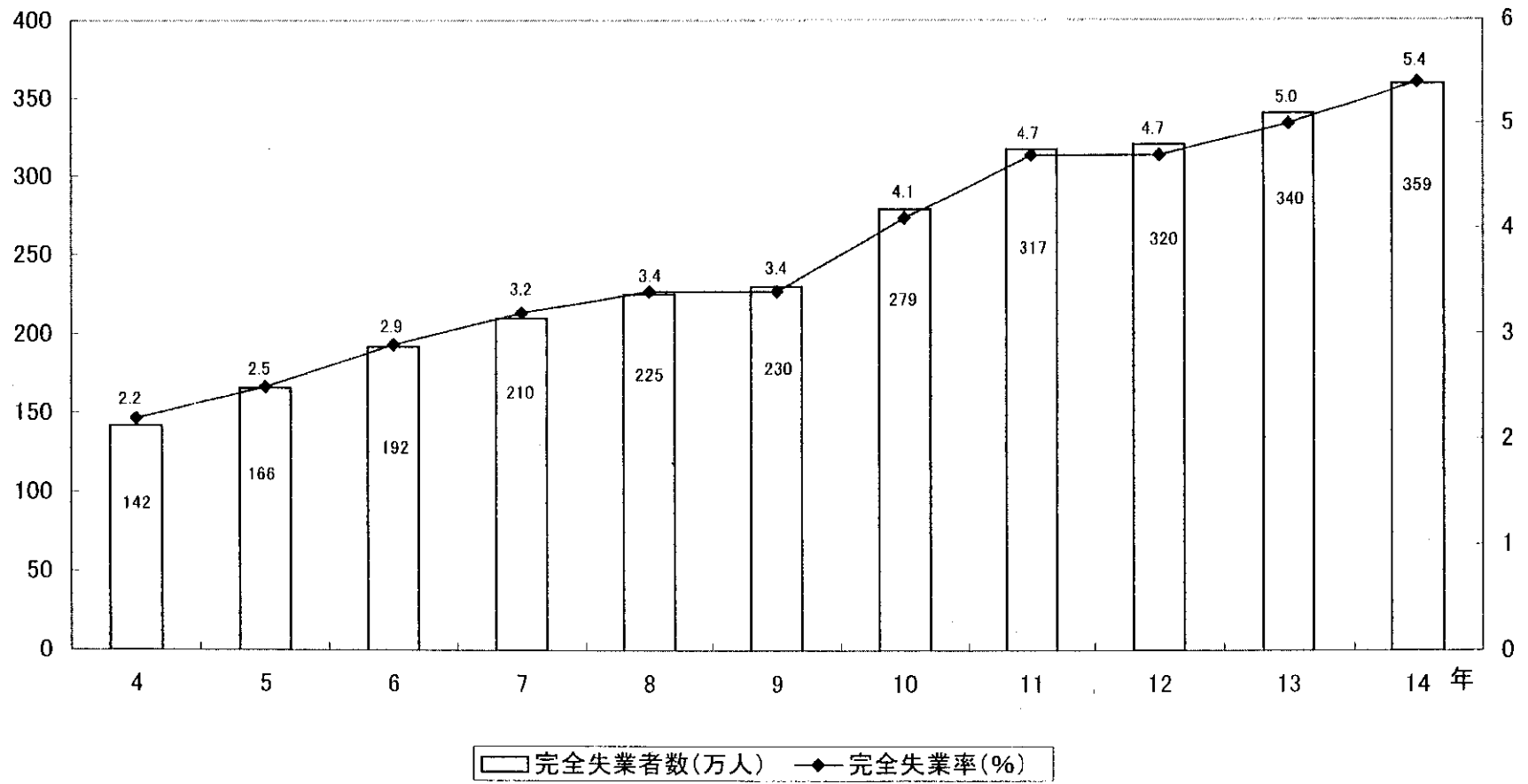


※ 常用雇用以外の労働者数は常用換算（常用雇用以外の労働者の年間総労働時間数の合計を常用雇用労働者の1人当たりの年間総労働時間数で除したもの。）としている。

完全失業者数・率の推移

完全失業者数(万人)

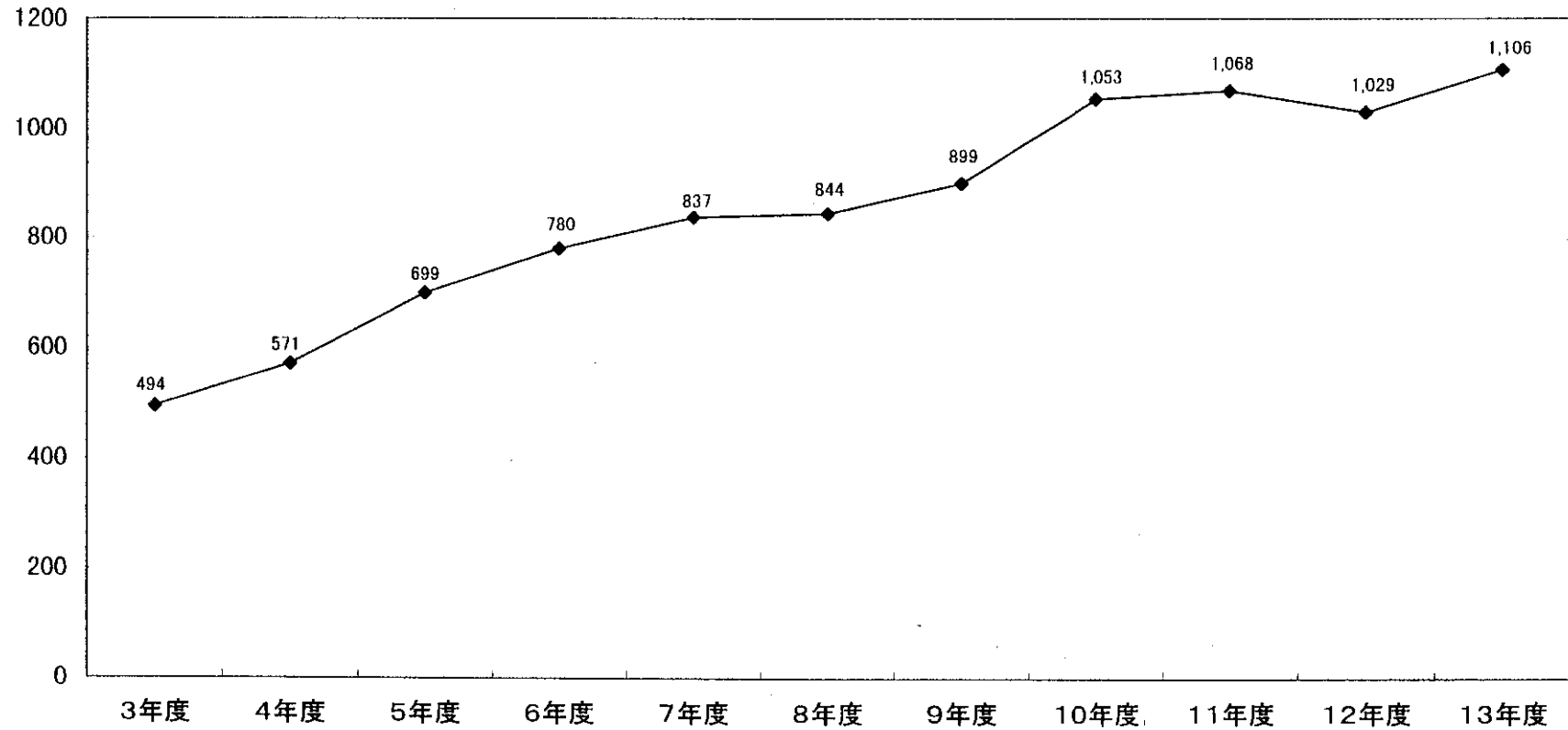
完全失業率(%)



資料出所:総務省「労働力調査」

雇用保険における失業給付受給者数の推移

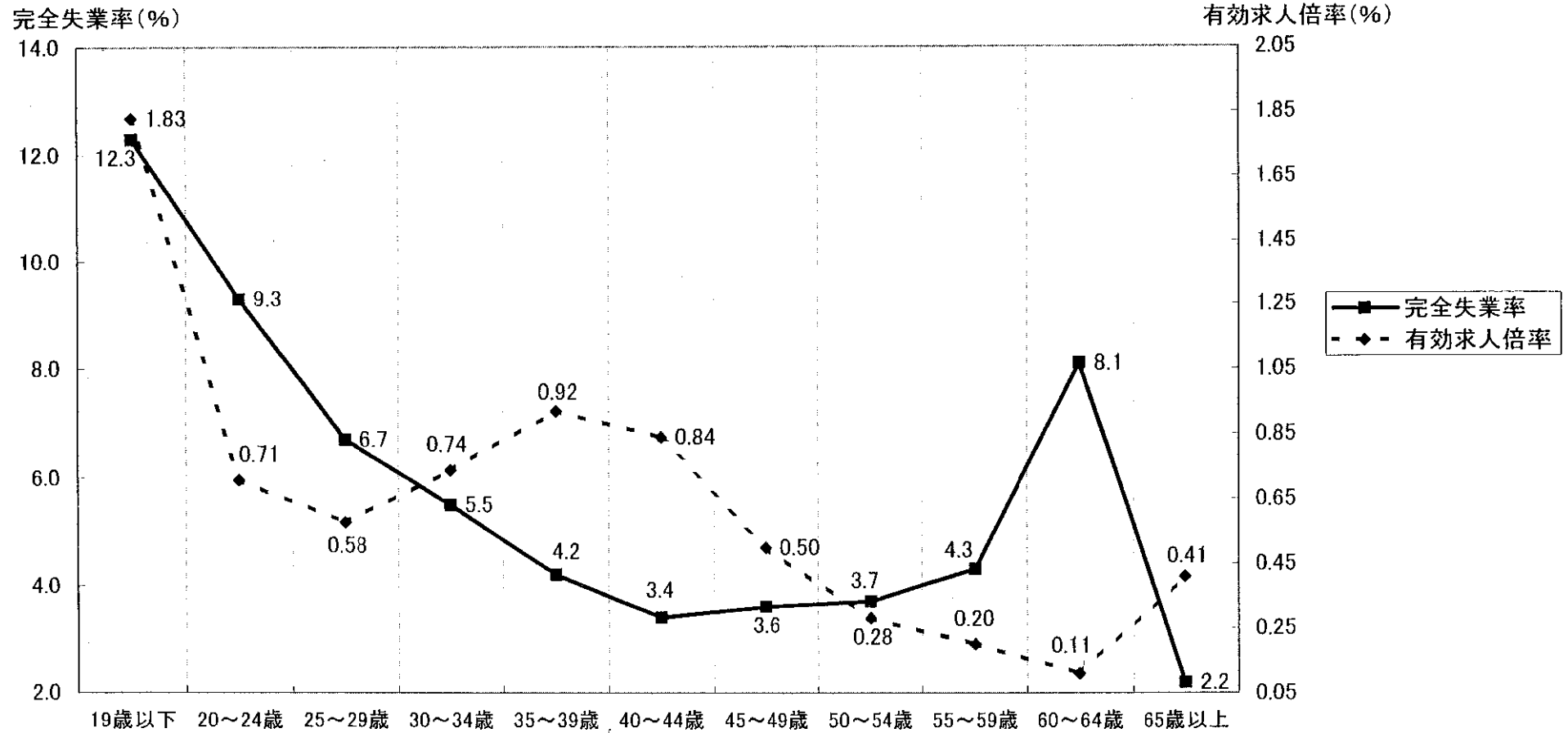
受給者数(千人)



(注)受給者数は、一般求職給付の基本手当基本分を受給した者の年度月平均値である。

資料出所:厚生労働省「雇用保険事業年報」

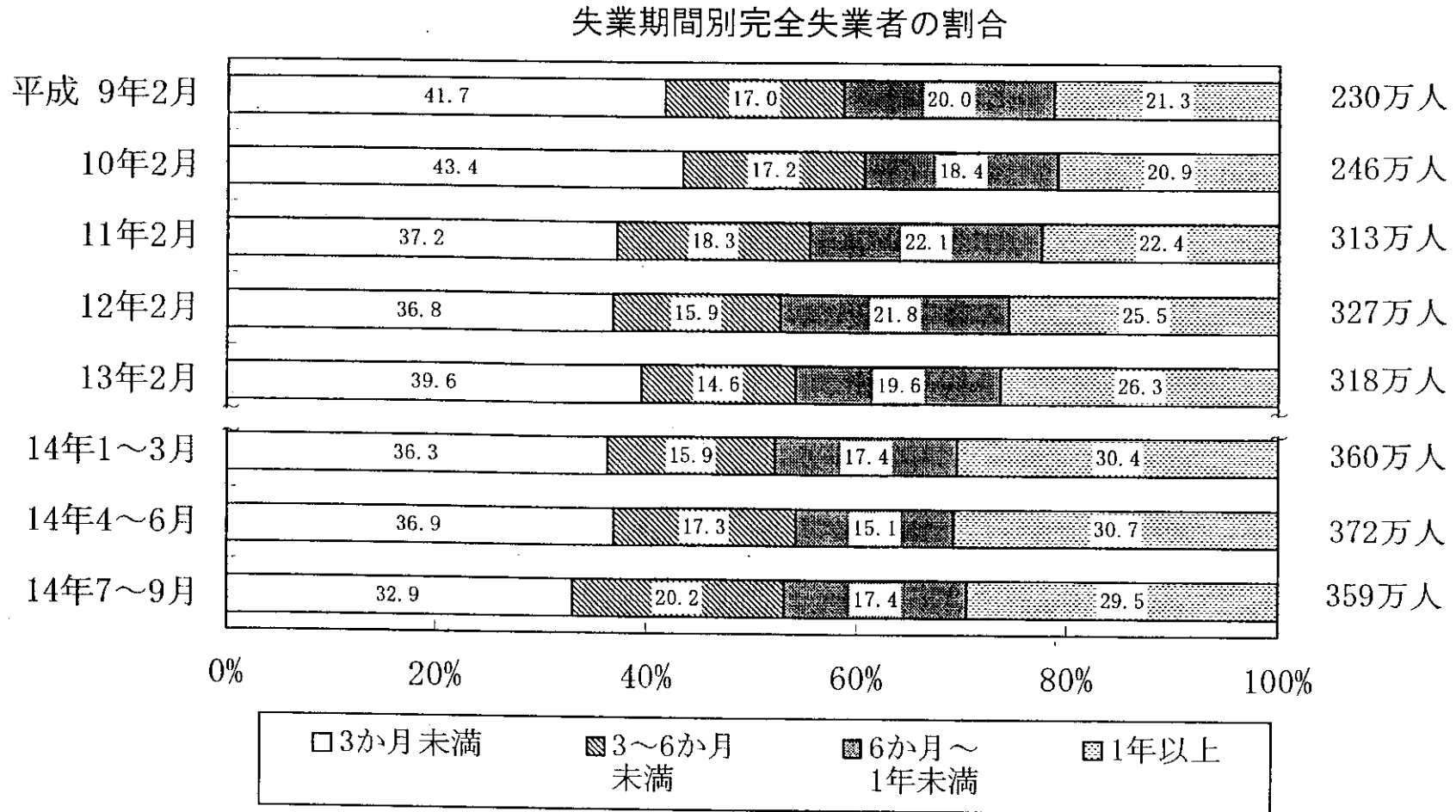
年齢階級別完全失業率と有効求人倍率



資料出所:「労働力調査年報(平成13年度)」総務省統計局、「労働市場年報(平成13年度)」厚生労働省職業安定局

失業期間別完全失業者の割合

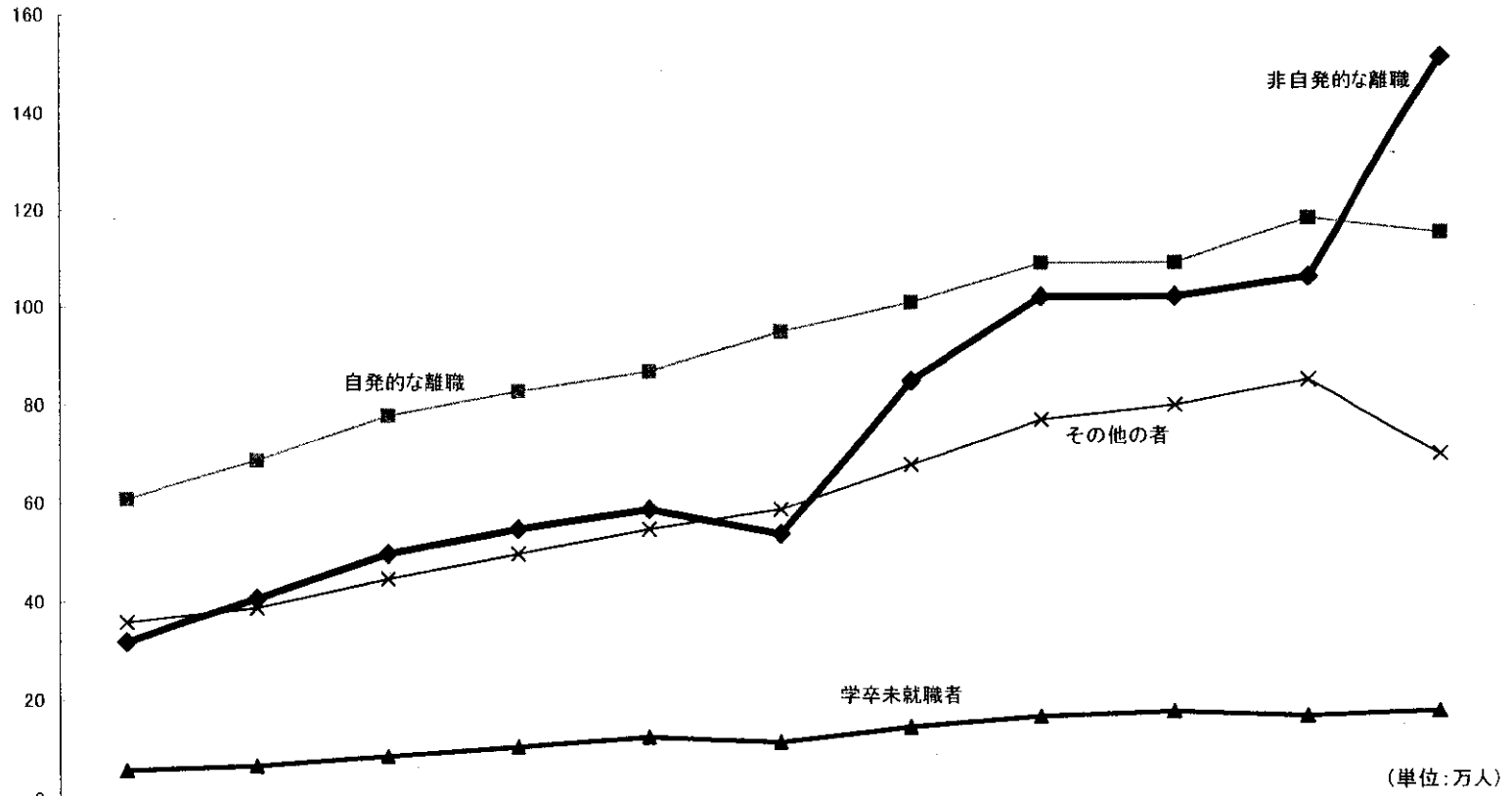
○ 失業期間別に完全失業者の割合をみると、「3 か月未満」が 32.9%と最も高く、次いで「1年以上」が 29.5%となっている。



資料出所：「労働力調査詳細結果(平成 14 年 7 ～ 9 月平均)」総務省統計局

求職理由別完全失業者数の推移(男女計)

完全失業者数(万人)



	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年
◆ 非自発的な離職	32	41	50	55	59	54	85	102	102	106	151
■ 自発的な離職	61	69	78	83	87	95	101	109	109	118	115
▲ 学卒未就職者	6	7	9	11	13	12	15	17	18	17	18
× その他	36	39	45	50	55	59	68	77	80	85	70

(単位:万人)

資料出所:総務省「労働力調査」